かめやま 社協だより

2016.10
第47号

あなたのそばに、福祉委員

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会
社協だよりは市民の皆様からいただいている会費で発刊しています。

生活・福祉のお困りごと
ご相談ください ☎82-7985

福祉委員とは

困っている人、支援を必要としている人やその家族に対して、隣近所に住むよき相談相手となるとともに、民生児童委員や自治会長、まちづくり協議会と連携し「福祉のまちづくり」を進めていく福祉活動の推進役です。市社会福祉協議会会長が委嘱する、亀山市独自の制度です。

配置の目安

50世帯に１人を目安に配置をしています。

342人（H27実績）を委嘱しています。

民生委員の配置（200世帯に１人）より、さらに目の届きやすい範囲で活動しています。

やっていること

1　福祉課題（生活のお困りごと）の発見

2　地域福祉活動の推進

（見守り訪問、サロン等、地区まちづくり協議会の福祉活動への参画）

ゆるやかにご近所を見守る、地域のアンテナ役です。

亀山流の見守りを福祉委員から考える

毎年、新任の福祉委員を対象とした研修会を開催しています。今年度も皇学館大学の板井正斉准教授をお招きし、「見守り」をテーマに福祉委員の役割の重要性を学ぶ研修会を開催しました。

あなたのそばに、福祉委員

加太地区福祉委員　坂　さよ子さんの日常

坂さよ子さんは加太地区の福祉委員をしています。ご近所でひとり暮らしをしている、いつ子さんとは、いつの間にか「さよちゃん」「いっちゃん」と呼び合う仲に。普段は仕事があり頻繁には会いに来られない、いつ子さんの息子さんにとっても、坂さんはありがたい存在です。

「特別なことはしていないけど…」と坂さんは話していましたが、一日一回はひとり暮らしのご近所さんへ声をかけています。坂さんのさっぱりとした、明るい人柄にひかれ、ご近所からもたくさんの声がかかります。

「今までは近所の人に出会ってもあいさつ程度でした。福祉委員になってからはゆっくり色々と話をする機会が増え、ひとり一時間以上も話すこともあります。帰るときは『また、来るでな』と言って帰ります。小さな力でも役に立っているのかなあと思っています。」いつ子さんの「さよちゃん、頼りにしてるでな。」という言葉に二人の信頼関係が表れているようでした。

亀山市社協では福祉委員が地域でゆるやかにつながる関係を担うことで、亀山市が誰もが安心して暮らせる街になるよう目指しています。

UMOU PROJECT

羽毛でまちを幸せに

自宅に使っていない羽毛布団が眠っていませんか?

不要になった羽毛製品がありましたら社会福祉協議会までご連絡ください。

回収された羽毛製品は、赤い羽根共同募金として地域の福祉活動に役立てられます。

環境を守ることが出来ます。

回収された羽毛は、きれいに洗浄され、新しい羽毛製品に生まれ変わります。捨てられずに再利用されることで、二酸化炭素の削減に繋がります。

障がい者の仕事が生まれます。

羽毛の選別や洗浄などを障がい者施設に委託しています。羽毛リサイクルのしくみの中に、障がい者の仕事を作ることで、障がい者の雇用や、賃金アップにつながります。

まちを良くする寄付に変わります。

羽毛製品は1年を通じて集めています。

使わなくなった羽毛布団が、自分のまちを良くするしくみにつながっていきます。

羽毛リサイクルの収益金の一部は、赤い羽根共同募金を通じて、地域の福祉活動に使われます。

サロン活動

障がい児社会見学

問い合せ先　亀山市共同募金委員会(亀山市社会福祉協議会内)　☎82−7985

社会福祉協議会 活動紹介

第２次地域福祉活動計画策定に向けて

グループワーク

亀山市社協では第２次地域福祉活動計画の策定に向け取り組んでいます。８月からは、まちづくり協議会の役員や福祉委員会のメンバーに集まっていただき、地域の声を集約する地区懇談会を開催しました。地域の「課題」や「10年後こんな地区でありたい」など、様々な意見をいただきました。いただいた意見を反映させて、計画策定に向けて取り組んでいきます。

夏休み中学生福祉体験教室

利用者の方とともに体操している様子

夏休みを利用して、亀山中学校、中部中学校、関中学校から述べ138名の生徒が市内21か所の福祉施設において体験を行いました。

参加した生徒からは、「障がいを持った人もみんなと同じように生活しているんだと思った」「一緒に活動して楽しかった」と、施設での体験や交流を通じて福祉に対する理解を深めました。

民生児童委員と交流しました

なかまの部屋、つくしの家の利用者と
地域とのかけ橋になっていただいています。

なかまの部屋

民生児童委員さんとは10年以上交流会を持っています。現在、年4回季節に合わせた交流をしています。7月には七夕茶会を行いました。七夕にまつわる話を聞いたり、抹茶の点て方を教えてもらったりしながら茶菓子と一緒に美味しくいただきました。

つくしの家

８月９日(火)に、亀山市の西部地区の民生児童委員さんとつくしの家の利用者との初めての交流会をしました。みんなで季節の歌や手遊びをしたり、ハーモニカの演奏をしていただいたりと利用者の笑顔がたくさん見えた交流会となりました。

●平成29年度亀山市社会福祉協議会正規職員を募集します

●採用予定人数／１名程度
●応 募 資 格／昭和56年４月２日以降生まれの方で、次に該当する方
(1) 心身共に健康で、社会福祉の仕事や心身障がい児・者に理解のある方　(2) ４年制大学を卒業した方または卒業見込みの方
(3) 普通自動車運転免許を所有の方または採用時までに取得見込みの方　(4) 通勤可能な方
●試験（第一次）の日時・場所など　※第二次試験（面接）の実施日等については、第一次試験合格者に通知します。
と　　き…平成28年11月20日（日）午前９時～　　ところ…市総合保健福祉センター あいあい
試験科目…適性検査、教養試験、小論文の各筆記試験
●受 付 期 間／平成28年10月３日（月）～ 平成28年10月31日（月）
午前８時30分～午後５時15分（土日・祝日を除く）　※郵送による申し込みは、10月31日（月）必着
●採用予定日／平成29年４月１日
●申込書の請求・提出、問い合わせ先　亀山市社会福祉協議会　総務係　　TEL 0595−82−7985
※詳しくは社協ホームページをご覧ください。

●あいあい祭り2016 ～であい・ふれあい・ささえあい～

去年の様子

舞台発表や模擬店、展示コーナーなど盛りだくさんの内容で、景品が当たるスタンプラリーも行います。皆様のご来場をお待ちしております。
と　き／平成28年10月16日（日）
9：45～14：00
ところ／亀山市総合保健福祉センター「あいあい」
亀山市立医療センター

●第12回社会福祉大会を開催します

亀山市内における社会福祉功労者の顕彰と記念講演会を行います。一般の皆様もご参加できますので、ぜひご来場ください。

と　き／平成28年11月24日（木）
13：00～受付
13：30　開会
ところ／亀山市文化会館
中央コミュニティセンター
（亀山市東御幸町63）

講師／NHKプラネット中部支社
制作事業部長
黒川　敬　氏
演題／ご近所力アップの秘訣

●平成28年度社会福祉協議会会費にご協力ありがとうございました。

皆様にご協力いただいた会費は市内の地域福祉活動の推進に役立てさせていただきます。今後ともご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

善意の寄付（平成28年6月2日～平成28年9月1日まで）

櫻井　潤一様　亀山高校三九会様
亀山市ボランティア連絡協議会様
お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

熊本地震義援金総額（平成28年9月1日現在）

1,111,587円

皆さまからお預かりした温かいお気持ちは全額、日本赤十字社、共同募金委員会を通じて熊本に送金されます。
亀山市社協ホームページにご寄附頂いた皆様のご芳名を掲載しています。

亀山市の福祉指数（平成28年9月1日現在）

市総人口　49,698人	65歳以上の人口 12,748人（男性 5,667人 女性 7,081人）
世帯数　20,715世帯	18歳以下の人口　8,945人（男性 4,588人 女性 4,357人）
	高齢化率 25.7%

印刷
株式会社 一誠堂

リサイクル適性Ⓐ
再生紙を使用しています。

発行 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会 〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内
TEL 0595-82-7985　FAX 0595-83-1578　URL http://kameyama-shakyo.or.jp